

夫婦がうまくやっているとよく鍵 その2

—なぜ結婚はうまくいかないのか1—

精神科医 合川 勇三

—前回は、夫婦がうまくやっているとよく鍵「コミュニケーションが大切」ということをお話ししていただきました。その中で、結婚を維持するためには、要約すると「KAG—」「つまり、K—契約、A—与える、G—犠牲、—意思 が必要であるということでした。2回目の今回は「なぜ結婚はうまくいかないのか」について、教えていただけますか。

合川 はい。結婚がうまくいかない理由は、5つあります。

1. 男女の違い
2. ふたりの違い
3. コミュニケーションの難しさ
4. 自己中心の問題
5. 結婚する資格の問題

男女の違い

合川 まず一つめは「男女の違い」です。子どもの時から、男の子と女の子は違いますね。大人になっても同じになるというものでもありません。男女の社会的な権利は同じであっても、家庭の中にあつては、期待されるこ

とや求められることが違います。

妻が夫に求めているものは、愛されることです。しっかりと話しを聞いてもらいたい、理解してもらいたい、大切にされたいということなんです。

一方、夫が妻に求めているのは、尊敬されることです。簡単に言うと、妻に尊敬されているか、馬鹿にされていないか、下に見られていないかということが大事なんです。

テレビでもよく言われているのですが、男性を喜ばせる「なにすせそ」というのがあります。「さっすがさっ！」「知らなかつたさっ！」「すっごいさっ！」「センスいいさっ！」「そうなんださっ！」という言葉がけです。こういう言葉をかけられると男性は非常に喜ぶというか、自尊心が満たされます。

—女性も、違いますね。僕が妻に「すっごいね」と言つた「ほかにさっすがさっ！」と聞かれます。

合川 女性は、「すっごい」と言われたくはないですね。求めているものが違います。お互いに求めているものを与えなくてはなりません。たとえば妻は夫に話をじっくりと聞いてほしい。しかし、これが難しい。男性は女性の話話を聞き続けることが一番苦手なんです。女性の話

は目的がなく、どこにいくのか、いつ終わるのかわかりません。

*男を喜ばせる（男性に尊敬を表す）さっすせそ

さ：さっすがさっ！
し：知らなかつたさっ！
す：すっごい！
せ：センスいいさっ！
そ：そうなんださっ！



一方、妻が最も苦手とするのは、夫を褒めることなんです。私が「夫と良い関係結びたいければ、夫をほめることです」と言うのですが、大抵の女性は「うちの夫には、褒めるところは少しもありません」と言います。

もう一つ、男性と女性が違うのは考え方です。女性は、プロセスがどうであつたかを大切にします。反対に男性は結果が全てです。会話の目的は何かを解決することです。例えば夫が家に帰ると、妻は「今日はいろいろあつて、さっすがさっすがさっ！」と聞かれます。それからさっすがさっ！で大変だつたのよ」と言います。夫は話を聞いても何を解決してほしいのかわからないから「結局何を言いたいのか？何をしたいのか？」と聞きます。しかし妻としては「解決なんか求めていない。ただ話したいだけ。何があつたかを共有してほしいの。気持ちを分かっしてほしいのよ」となるわけです。この男女の違いを理解